

Lecture/CompPracC32005/12th/hosoku

2025年 8月 21日

目次

- [Lecture/CompPracC32005/12th/hosoku0](#)
 - [補足資料：「高橋メソッド」について0](#)
 - [「高橋メソッド」とは、むやみに大きな時が特徴的なプレゼン手法0](#)
 - [「高橋メソッド」の作り方の例0](#)
 - [パワーポイントで「高橋メソッド」0](#)

補足資料：「高橋メソッド」について

「高橋メソッド」とは、むやみに大きな時が特徴的なプレゼン手法

- 特徴
 - 巨大な文字（100～300ポイントの大きさ）
 - 文字数が少ない（1画面に数文字、長くて3、4行の文字）
 - 簡潔な言葉（文字を大きくするため）
- そのほかに
 - 発表しやすい（話すことが書いてある）
 - 集中させやすい（読む量が少ない）
- くわしくは、<http://www.rubycolor.org/takahashi/>

「高橋メソッド」の作り方の例

1. 発表時間にあわせてページ数を割り出す
 - 高橋メソッドの場合、「1枚5秒」が目安
2. アウトライン（あらすじ）を作る
 - テーマから、調べたり思いついた単語や文を並べる
 - 集めた単語や文から、取舍選択したり、並び替えたり、足りなければ補充する
3. フォントを決める
 - 見やすい、美しい（HGP創英角ゴシック、HGPゴシックEあたり）
4. 単語や言葉を選ぶ
 - 長い・ややこしいのは避ける（別の言葉に置き換えてみる）
 - 接続詞は避ける（例：「しかし」「では」「結局」）

パワーポイントで「高橋メソッド」

1. 新しいスライドを作る
2. メニューバーの「書式」 「スライドのレイアウト」を選択
 - 画面右側の一覧から、「タイトル」のレイアウト（左最上段）を選ぶ



3. 「クリックしてタイトルを入力」をクリックして、文字を入力
4. フォントの種類や大きさを選ぶ

- 大きさを設定するには、直接数字を入力する（100～300程度）

